

葦 森 の 風

いよいよ2013年もあとわずかとなりました。たくさんの行事が行われた2学期でした。忙しく計画されていた、予定の中で、実りのある実績が残されたことと思います。しかし、個人的にはじゅうぶんに努力ができなかったという反省があったり、体調面で悔しい思いをしたという感想をもっている人もいます。とくに、3年生のみなさんにとっては、進路実現に向けて、大切な時期になります。しっかりと2学期を振り返り、新たな希望を抱いて、前向きな一歩を踏み出して行けるようになっていきたいと思います。

新校舎の外観



新校舎南面(玄関)



北面



西面

西署善行少年表彰



西警察署から地域ボランティアの活動で、3年生垣内秀太君、三澤勇登君が表彰されました。

足守中学校地域協働学校運営協議会委員さんからの提言

『(私なりの) チーム論』

足守中学校地域協働学校運営協議会 委員 御船 宗一郎

「チーム」という言葉を聞くと、やはり、スポーツを連想する人が多いと思います。同じ目標(当然『優勝』!)に向かって、長い練習時間を共有し、勝利の瞬間の感動のために、辛くても苦しくても懸命に突き進む、いわゆる運命共同体です。

私自身も、小学校時代のソフトボールに始まり、サッカー、アメリカンフットボールと、いくつかのチームスポーツを経験してきました。

今年は、プロ野球日本シリーズで、創設9年目の東北楽天イーグルスが、球界の常勝集団である読売ジャイアンツを破り、日本一になりました。楽天にはマー君という絶対的な存在が居たとはいえ、両チームのメンバーの戦力の差は歴然で、特に選手年棒の総額に至っては、巨人の38億円に対し、楽天は半分以下の18億円でした。それでも、楽天は勝ちました。震災により、「自分の為ではなく、誰かの為に闘う」と、団結したチームのモチベーションの高さが、勝利への強い意欲となり、遂に今年、奇跡を起こしました。日本シリーズでの数々の劇的なシーンを見ていると、選手、球団スタッフとファンが、巨人より(少しだけ)強く、一体となっていた楽天は勝つべくして勝ったのではないかと思えてしまいます。

『個が輝き、お互いに響きあっているチーム』

それは、「自律性(自ら行動する)」と「協働性(みんなの為)」を兼ね備えたチームです。

理想は高く持って、足守中学校区全体が「自律性」と「協働性」に満ちて、もっともっと前を向いて進んで行く、そんな『チームあしもり』を目指したいものです。

ただ、私が足守中学校のPTA会長となって2年目ですが、PTAの役員さんはいつも「会長さん、どうしましょう?」ではなく、「会長さん、これはこうした方がいいと思いますが、いいですか?」と言ってくれます。私はいつもニコニコして『任せました!』と言っているだけです。自律的で、協働的なメンバーに恵まれ、非常にありがたいと思っています。

(とても斬新な)新校舎が着々と出来上がりつつあります。ただ、どんなにハードが立派でも、それを使いこなすソフト面がお粗末では、魅力あるものは出来ません。

個々が自律し、個々が輝き、お互いに響きあって、同じベクトルをもって協力し行動する、そんな『魅力的な足守中学校区』を創っていきましょう。

| | | | | |
|-------------|-------|----------|--|--------------|
| | | 自律性 | | |
| | | 大: 自らやる | | |
| | 勝手気まま | 目指すチーム | | |
| 小 : 自分の為 | 烏合の衆 | | | 大 : みんなの為 |
| | | 減私奉公 | | |
| | | 小: 誰かがやる | | |



御船宗一郎さん